

# いきいき業者婦人



# いどばた

## 第41回総会 No.9

(発行) 静岡市駿河区泉町 7-12-8 松山ビル 2F  
Tel.054-283-8885 Fax.054-286-5263  
静岡連婦人部協議会

### 所得税法第56条廃止へ向けて

### 28自治体へ一斉請願・陳情

前号に引き続き、一斉請願・陳情の様子をお伝えします。今回の一斉請願・陳情で様々なドラマが生まれています。会派まわりや質疑の中で、初めて会った女性議員が56条問題に関心をもち、採択でも賛成してくれたという報告がいくつか寄せられました。今回、理解を示してくれた議員とも引き続き懇談を重ね、一緒に採択を目指す運動にしていきたいところですよ。

### 森町 女性議員が思わず「私も賛成したい！」

6月1日、共産党・西田彰町議が紹介議員となり請願書を提出しました。行動には袋井・町田事務局長と大石邦子県婦協副会長と、竹下紀子事務局が参加しました。6月15日には常任委員会の場で大石副会長と竹下事務局が請願趣旨説明を行いました。「青色申告にすればいい」等の反対討論が続く中、常任委員副委員長で森町唯一の女性議員が「私も賛成したい」と思わず声を上げるも、委員長に「あなたは副委員長で意見を述べる立場にない」と厳しく咎められる場面がありました。委員会終了後、廊下でその女性議員が「応援しています」と言ってくれました。勇気をもらうと共に「女性一人なのでいつも言われっぱなしで…」との言葉に、まだまだ議会は男性社会なのだと思

### 小笠掛川民商

### 3市に請願行動 議員自宅訪問も精力的に

### 掛川市

5月16日に共産党市議を交え学習会を開きました。婦人部から6人が参加し活発な討論になりました。5月18日には創造みらい、無党派、公明党議員を訪れ、無党派、公明党議員を訪問し趣旨を説明した結果、創造みらいの栗原議員が共産党議員と共に紹介議員になる事を約束してくれました。5月27日、紹介議員らと植田真弓部長（県婦協副会長）川田博樹事務局で議

長、副議長、議会事務局と懇談し請願書を提出しました。結果は不採択でしたが無党派や公明党議員とも時間を取って懇談ができたのはよい経験でした。

### 御前崎市

### 共産党・清水市議の運転で議運の14人の自宅を連日訪問

5月17日に共産党市議を交え学習会を開き部員4人が参加しました。原発の問題に熱心に取り組んでいる共産党の清水澄夫市議より「議会運営委員になってい



る14人全ての議員の自宅を訪問し訴えたほうがいい」とアドバイスを受けどう進めていこうか考えていたところ、清水市議の「さあ、行こう！」という勢いに圧倒されるような形で訪問がスタートしました。

14人もいるので1日ではまわりきれず、連日の行動でしたが、清水市議が自ら運転し非常に熱心に取り組んでくれたため引つ張られる感じで進めました。植田真弓県婦協副会長は「清水さんに圧倒されながら、毎日のように出かけるので、夫に『わかるけど、仕事もあるのに、いい加減にしろ』と怒られながらの行動だった」と笑って語りました。結果は不採択でしたが、議運の14人全てに訴えきることができたのは貴重な成果です。

### 菊川市

5月11日に共産党市議を交え学習会を開催。部員も含め5人が参加しました。5月24日に議会事務局へ請願書提出しました。

### 磐田民商 磐田市

磐田民商は5月10日に共産党議員団と婦人部合同の学習会を開催しました。婦人部から4人が参加し、議員団から昨年行つた陳情と今回行う請願の違いや、理解が得られやすい請願分の書き方などアドバイスももらいました。5月12日に行つた会派まわりでは、「昨年、陳情書が不採択になったばかりなのに、なぜまた提出するのか、理由を具体的に教えてほしい」、「白色申告に不具合があるのなら詳しく教えてほしい」など、多くの質問を浴びせられました。渡辺尚美部長は請願を妨げるような質問の数々にめげるところか、ます



ます奮起し、その後も共産党議員団との学習や打ち合わせを重ね27日に議長に請願書を提出しました。

### 総務委員会で厳しい質疑

6月27日、総務委員会で請願趣旨説明と質疑が行われました。多くの質問が出されましたが特に志政会議員からは「就労形態はさまざまなので女性差別とするのはどうなのか」、「税制と女性差別を結びつけるのはどうかと思う」など厳しい質問が出されました。中でも「国連は公平な組織ではない。常任理事国の中国に対しても制止行動ができていない」、「女性差別撤廃委員会は民族・国家を超えた越権行動をしている。日本の組織にものを言える立場ではない」、「女性差別撤廃委員会を全面的に信用してはいけない」、「女性差別撤廃委員会の後押しがあつて請願してきたのではないか」とい

結果は不採択でしたが傍聴した婦人部役員も、準備に準備を重ね請願者質疑に挑んだ後藤加寿美事務局も「不採択という結果より、市議会議員の暴言ともとれる発言が非常に残念だった」と語っています。また、後藤事務局は「緊張して思っていることの半分くらいしか話せなかった。もっと勉強してすぐに返答できるようにしたい」と感想を語っています。



### 浜松民商 浜松市

5月13日に大石邦子副部長と伊藤まする副部長、竹下紀子事務局の3人で会派まわりを行いました。創造浜松では前回の陳情でも懇談していたためか終始和やかに話が進みました。高林代表は「個人的にはあなたたちの言っていることは理解できるし、その通りだとは思いますが、なんせ全体の討議になるのでそこはご了承してほしい」と語りました。紹介議員になってほしいとお願いと「浜松市での請願は今までもどこも紹介議員になったことなどない。共産党さんだけでしよう」と話され参加者は驚きを隠せませんでした。

### 自民党議員も

### 「56条はいらない」

自民党では高林議員、鳥居議員の2人と懇談しました。大石副部長が「申告の原則は白色であることから、



いまだに時代遅れの制度が残っていること自体おかしい。給与が経費と認められないのは明らかかな人権問題です」と訴えると、高林議員は「私は税理士だったので税法上の

白色・青色申告についてはよく知っている。私も白青は関係ない、個人的には56条はいらないと思ってる」とはっきり答えました。しかし「全体で決めることなので」とも語り、「高林議員の意見をぜひ全体に訴えてほしい」と改めてお願いしました。

### 「浜松なんて無理よ！」に納得いかず

5月16日は浜松市政向上委員会を訪問しました。この日は井口睦子部長と浜北民商の中村麻智恵事務局も参加しました。事前の約束で鈴木代表と懇談する予定が、急な来客があるということで事務局に請願書のみ渡し紹介議員をお願いしたいと話したところ、いきなり「なんで請願なの！浜松なんて無理よ」と言われてしまいました。「これからやっていくなら、もつと別の方法でやっていくしかないね」の言葉に、改めて「懇談の機会をぜひ持つていただきたい」とお願いしてきました。

5月17日、大石副部長、伊藤副部長、中野三枝子副部長、柳澤志づ江さん、竹下事務局と共産党議員団の計10人で副議長に請願書を提出。中野副部長が「浜松の中小業者の実態を教えてください」と副議長に質問すると、副議長は「浜松の産業を支えているのは、大卒のところが中小企業である」と回答しました。中野副部長はさらに「しかし地域を支えている中小業者は後継ぎがいらないことや、仕事の減少で廃業に追い込ま



れるなど地域経済は非常に衰退している。そのひとつとして56条問題の影響もあると思う」と訴えました。副議長の回答は「皆さんの訴えはわかりましたが、私の一存では決めることができないので」と当たり障りのないものでしたが、これまで陳情を7回行い、請願は初めての取り組みという中、じっくり懇談できたことは良かったです。

### 参加者の感想

#### 大石邦子副部長

今まで議員が個人的に廃止という言葉を発することが無かったので、懇談を重ねる中で変化が生まれてきていると感じた。共産党以外、紹介議員になったことがないというのは驚いた。やはり懇談を重ねることが大事。

#### 中野三枝子副部長

地域を支えているのは中小業者であることから、地域を活性化していくことと56条が結びついていることをもつと強調していきたい。

#### 井口睦子副部長

浜松市は全てに事務的で難しいと感じたが、これからの取り組みで粘り強く訴えていきたい。

### 伊藤まする副部長

たとえ短い時間でもしつかり話を聞いてくれるようになったことが、これからの取り組みに繋がっているとと思う。

#### 柳澤志づ江さん

初めて参加しましたがとても勉強になりました。

6月21日には本会議が開かれ婦人部から3人が傍聴で参加しました。「女性の進出という意味では理解できるが、56条は租税回避の目的があることや57条にあるように青色申告を選択すれば問題はない」等の反対意見が出され結果は不採択でした。しかし共産党議員のほか女性一人会派の浜松市政向上委員会・鈴木恵市議が賛成してくれ、今後の展望につながりました。

### 浜名民商 湖西市

5月17日、共産党市議を紹介議員に議長、副議長と懇談しました。請願の趣旨や議長からの質問に対し浜名民商の高林亮事務局長が答え最後に請願書を提出しました。

6月8日総務委員会で趣旨説明が必要ということで、県婦協から大石邦子副会長と竹下紀子事務局が応援で駆けつけました。浜名民商からは高林事務局長が参加を呼びかけた婦人部の斎藤さんも参加してくれました。



湖西市に対しては、浜名民商がこれまで行った対市交渉などで56条の問題についても要請項目に入っていたため趣旨を理解している議員もいれば、全く無知の議員もおり、委員会では紹介議員となった共産党・荻野議員にたくさん質問が投げかけられました。大石副会長と竹下事務局は質疑での発言者として参加しましたが、手違いで傍聴席に座るよう指示されていたため、反論できない気持ちを抑えきれず手上げ発言許可を求めるも認められずにいましたが、休憩中の発言のみ許可されました。

短い時間の中で十分な訴えができず悔いも残りましたが、採決では無所属の女性議員が賛成に手を上げ、「今後、詳しく勉強したい」という議員が2人いました。結果は不採択ですが湖西市でも今後の展望が開けました。

